

ノロウイルス感染症・食中毒にご注意を!

秋口から春にかけての発生が多く、全国的に流行します。

今年もご注意!



ノロウイルスに感染すると

ノロウイルスは、10から100個口に入ると感染し、感染力が非常に強く、感染して1~2日で発症する。症状は**おう吐**や**下痢**、**腹痛**で1~3日で回復する。ひどい嘔吐や下痢が続いた場合は、水分を十分取り、脱水症状に注意。高齢者は吐物による窒息に注意。早めに医師の診察を受けよう。

予防対策のポイントは

★二枚貝の生食は控えよう

かきなどの二枚貝は、十分加熱して食べよう。(85℃1分以上)

★とにかく手洗いをしっかりと!

排便後や食事前、調理前は、必ず石けんで手洗いをしよう。

ノロウイルスを落とすしちやえ!



素手での吐物、下痢便の処理は、ぜったいダメ!

① まず窓を開けて換気する。

使い捨て手袋、マスク、エプロンを着用し、**50倍に薄めた塩素系消毒剤(次亜塩素酸ナトリウム)**、**ペーパータオル・ぞうきん**、**ビニール袋2枚**を準備する。吐物、下痢便はペーパータオルでおおい、その上から塩素系消毒剤を注いでぞうきんなどで拭き取り、ビニール袋に入れて、十分浸る量の塩素系消毒剤を注ぎ入れ、密封する。 ※「消毒液の使用法」は裏面参照。



② 吐物や下痢便で、汚れた便座や床は、ペーパータオルで覆い、塩素系消毒剤を上から注いで、10分置いた後、水拭きする。

③ 吐物・下痢便等を入れたビニール袋、汚れたペーパータオル・使い捨て手袋・マスク・エプロン・紙おむつ等は、2枚目のビニール袋に密封して廃棄する。

④ 汚れた衣類・シーツ・タオル等は、手袋を着用し、洗剤を入れた水の中で静かにもみ洗い後、**85℃1分以上**の熱水洗濯もしくは塩素系消毒剤に30分程度浸して、消毒してから洗濯する。下洗い場所も、塩素系消毒剤で消毒後、掃除する。

⑤ 最後に、石けんでよく手を洗う。





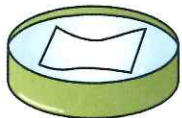
症状があった時に気をつけることは!

- ★感染すると、症状がなくなっても便にウイルスが2週間以上排出する。
- ★入浴は最後に入るか、シャワー浴にし、浴槽や洗い場は、洗浄後、**200倍**の塩素系漂白剤で消毒しよう。
- ★手ふきタオルやバスタオルの共用は避けよう。
- ★プールや公衆浴場などの利用はしばらく控えよう。
- ★下痢・おう吐等の症状がある時は、調理を控えよう。



消毒液の使用方法

- ・次亜塩素酸ナトリウム（塩素濃度5～6%）を含んだ塩素系消毒剤（塩素系漂白剤で代用も可能）で消毒する。
塩素含有濃度が商品によって異なるので注意。
- ・吐物や下痢便で汚れたものは**50倍液**で消毒、手がよくふれる場所は**200倍液**で拭く。
※素材によっては色落ちしてしまうが、ノロウイルスを死滅させるために必要な手段。金属はさびるので、消毒後水拭きしよう。
- ・手指消毒には塩素系消毒剤は使用しないよう注意。
アルコール製剤もあまり効果がないので、とにかく石けんで手を洗うことが大切。



【参考】塩素系消毒剤の商品名はピューラックス、ミルトンなど、塩素系漂白剤はハイター・ブリーチなど。

ペットボトルを使った薄め方

50倍の薄め方



吐物や下痢便で汚れた物・床の消毒

200倍の薄め方



手がよくふれるトイレの取ってや手すり、便座、ドアノブ、テーブル、おもちゃ等の消毒

相談・問い合わせ先

淡路県民局・洲本健康福祉事務所（保健所）

健康管理課 TEL 0799-26-2062

食品薬務衛生課 TEL 0799-26-2066